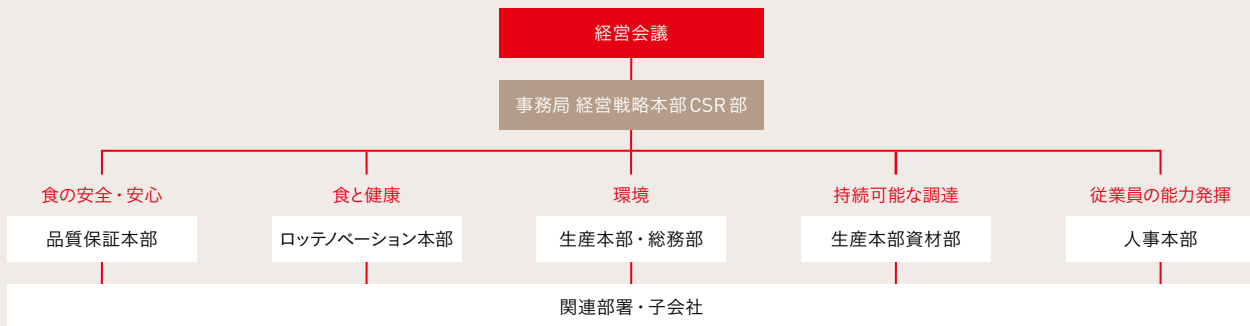


サステナビリティ活動の推進

推進体制

(株)ロッテ経営戦略本部CSR部が事務局となり、(株)ロッテグループ全体のサステナビリティ活動を推進しています。また、ESG中期目標の進捗管理も同部署が行っており、達成に向けた取り組みについて関連部署と連携して策定しています。ESG中期目標の進捗および、サステナビリティに関する重要事項について、(株)ロッテの経営会議に報告しています。



活動の指針

活動の指針として、サステナビリティ方針を策定しています。

2018年4月18日 制定

私たちは、企業理念の実践を通じて企業価値の向上を目指すとともに、持続可能な社会の実現に貢献します。

1. 企業活動を通じて社会課題の解決に貢献します。

私たちは、人々が心身ともに健康であり続けられる社会の実現に向けて積極的に取り組み、企業活動を通じて社会課題の解決に貢献します。

2. 安全・安心を徹底します。

私たちは、製品・サービスの安全・安心を徹底し、その上で「おいしさ」、「たのしさ」、「やすらぎ」を提供することで、社会の豊かさの向上に貢献します。

3. 環境負荷の低減に貢献します。

私たちは、自然の恩恵を受けて成長し、地球の一員として成り立っていることをよく理解し、企業活動を通じて低炭素社会や循環型社会の実現に貢献します。

4. 従業員が能力を最大限に発揮できる職場環境を目指します。

私たちは、従業員一人ひとりの多様な個性や働き方を尊重し、ライフ・ワーク・バランスの実現に取り組み、個々の能力を最大限に発揮できる環境を目指します。

5. バリューチェーン全体で持続可能な社会の実現に向けて取り組みます。

私たちは、持続可能な社会の実現のために、ステークホルダーの皆様と協力し、バリューチェーン全体で取り組みます。

6. 対話を通じて社会からの信頼を確立します。

私たちは、あらゆる法令、規程を遵守し、人権を尊重するとともに、高い倫理観に則った誠実かつ公正な企業活動を遂行します。

私たちは、ステークホルダーの皆様との健全かつ正常な関係を構築するとともに、公正な競争、企業情報の適切な開示等、社会の一員としての責任を果たします。

サステナビリティ活動は社外の声に傾聴しながら進めています。定期的に社外有識者とのダイアログを行い(P22参照)、いただいたご意見を活動に反映しています。また、社会的責任に関する国際ガイドンス規格であるISO26000を活用するとともに、SDGs(持続可能な開発目標)をはじめとする国際的なイニシアチブを踏まえ取り組みを行っています。情報開示については、GRI(Global Reporting Initiative)やSASB(米国サステナビリティ会計基準審議会)を参考にしながら、ステークホルダーの皆様との対話に資するよう開示内容の拡充に努めています。

有識者を交えた勉強会の実施

(株)ロッテ経営戦略本部CSR部が主催し、マテリアリティに沿ったテーマで、社外の有識者を交えた社内勉強会を開催しています。また、勉強会の内容は社内のイントラネットに掲載し、参加できなかった従業員とも内容を共有しています。

勉強会実績

2018年度	食品ロス (関連するマテリアリティ: 環境)
	ダイバーシティ (関連するマテリアリティ: 従業員の能力発揮)
2019年度	食品表示 (関連するマテリアリティ: 食の安全・安心)
	オーラルフレイル* (関連するマテリアリティ: 食と健康)
	パーム油 (関連するマテリアリティ: 持続可能な調達)
	フードセーフティ (関連するマテリアリティ: 食の安全・安心)

* オーラルフレイル: 噛む、飲み込む、話すなどの口腔機能が衰えることを指し、フレイル(身体の衰え)の一種。

従業員への浸透施策

サステナビリティの活動を推進するためには、その担い手である従業員が考え方を十分に理解する必要があります。そこで、様々なアプローチで浸透活動を行っています。(株)ロッテWEB社内報では、マテリアリティやESG中期目標について解説する記事を掲載するとともに、サステナビリティに関するトピックをタイムリーに情報発信しています。さらに、人事部門が主催する各種研修の中で、サステナビリティに関する内容を組み込んでいます。2019年度は社員意識調査の管理職向けフィードバックおよび新任基幹職向けの研修の中でサステナビリティについて説明しました。

Message

サステナビリティ活動の推進に向けて



佐藤 誠

株式会社ロッテ
経営戦略本部CSR部長

(株)ロッテは、2018年4月にサステナビリティ方針を策定し、それに基づいてサステナビリティ活動を進めています。持続可能な社会の実現に向けて、マテリアリティ(重要課題)を整理し、取り組むべき課題を明確にしました。さらに、課題に具体的に取り組むためにESG中期目標を設定し、その進捗を管理しています。

2020年の世界は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大により、大きな混乱に見舞われ、これを防ぐため、人々の活動や移動などに様々な制約が課せられました。今後も、「新しい生活様式」を実践しながら、引き続き感染拡大防止に努めていかなければなりません。世界の不確実性が高まる中で、企業が持続可能な社会の実現に貢献していくことは、今後ますます重要になると考えています。

ロッテグループミッションである「私たちはみなさまから愛され、信頼される、よりよい製品やサービスを提供し、世界中の人々の豊かなくらしに貢献します。」は、まさしく持続可能な社会のための取り組みによって実現されると言えます。これは、SDGs(持続可能な開発目標)が掲げる「誰一人取り残さない」に通じるものと考えています。今後も、ステークホルダーの皆様からのご意見を取り入れながら、従業員が一体となってサステナビリティ活動を推進していきます。今後の活動にご期待ください。